

2023～	災害福祉研究	単位数	履修方法	配当学年
		2単位	SR	1・2年
		担当教員	都築 光一	

■授業のテーマ

災害時における福祉支援体制とレジリエンス

■授業の目的

- ・災害時における福祉対応の基本的なあり方と、関連領域との協働による福祉実践に関する理解と実践の方法を構想できる。
- ・現代社会における災害福祉に関するレジリエンスの意義を理解し、具体的な実践の方向性を説明することができる。

■授業の到達目標

- ・災害時における福祉支援のために、これまでの様々な理論や取組みについて評価することができる。
- ・過去の災害時における取組みや、現行制度による対応について説明し、課題を述べることができる。
- ・災害時福祉支援の体制や具体的なアプローチに関し、地域住民や地域社会における回復力および強靱化の方向性について説明することができる。

■授業の概要

災害は、平時に突然発生し、平時における福祉対象者の他に、予期せぬ形で大量の支援対象者が出現し、あらゆる支援対象者に対する具体的な対応が、一挙に休む間もなく求められる。また災害の規模の他、種類や発生した時期や時間帯、さらには地理的条件も加わって複合的な要素が加味され、被災地の状況は多様である。こうした状況に対して従来は、公私の様々な支援が展開されてきていた。近年はこの中でも福祉支援の対応のあり方が議論されており、今後に向けた課題となっている。基本的に災害時の福祉支援は、急性期にとどまらず復旧復興期に至るまで求められ、この間、福祉支援が必要とする住民が、被災した急性期から復興を遂げた地域社会の一員として生活できるまでの間の、各ステージにおいてそれぞれ支援のあり方が望まれる。これら一連の災害福祉に関する支援体制について、個別対応から地域支援に至る包括的なあり方について、事例をもとに検討を加えつつ実践的に検討する。

■レポート課題

課題 1 (事前課題)	災害からの復旧復興の各ステージについて、レジリエンスの視点に基づいた福祉支援活動のあり方に関し、事例を用いて具体的に述べなさい。	【提出期限】 <input type="checkbox"/> 対面授業1週間前まで <input checked="" type="checkbox"/> 対面授業前日まで <input type="checkbox"/> その他 ()
課題 2 (事後課題)	福祉支援活動の課題と解決に向けた実践のあり方に関し、災害の各ステージを踏まえ事例を用いて説明しなさい。	【提出期限】 <input type="checkbox"/> 対面授業後1ヶ月以内 <input checked="" type="checkbox"/> 受講年度の最終レポート受付日まで <input type="checkbox"/> その他 ()

■アドバイス

課題1 アドバイス

災害時の急性期と復旧・復興期等災害時における各ステージの理解と、各ステージにおける基本的な福祉支援活動のあり方を確認しましょう。その上で、レジリエンスの視点にもとづいた福祉支援活動に関し、説明できるようにいたしましょう。

課題2 アドバイス

災害時の福祉支援体制に関する地域生活課題と、これに対応する様々な支援活動に関する概要を、具体的に把握しておきましょう。

■在宅学修15のポイント

	学修のテーマ	学修内容(キーワード)	学びのポイント
1	ガイダンス	15回の講義の概要の説明	・災害福祉研究の基本的な領域について講義 ・災害福祉の研究方法を講義
2	災害福祉① 災害福祉とは何か	災害福祉の概念と目標	・災害福祉の概念について文献にて講義 ・災害福祉の目標について文献にて講義
3	災害福祉② 災害福祉の制度	わが国における災害諸法制の概要	・災害諸法制の概要を講義 ・法制度の福祉の位置づけについて講義
4	災害福祉③ 災害時福祉支援体制	わが国における災害時福祉支援体制の概要	・政府から示された災害時福祉支援体制の概要を講義する
5	災害時福祉支援の理論① わが国の理論例	わが国における災害時福祉支援の理論	・わが国における福祉支援の理論の幾つかを取り上げ、その特徴を整理する
6	災害時福祉支援の理論② 外国の理論例	外国における災害時福祉支援の理論	・外国における福祉支援の理論の幾つかを取り上げ、その特徴を整理する
7	福祉支援の概要① 災害ボランティア	わが国における災害ボランティア活動	・災害ボランティア活動の仕組みを講義 ・活動事例などを通じて概要を講義
8	福祉支援の概要② 災害時施設間連携	わが国における災害時における施設間連携	・災害時施設間連携活動の仕組みを講義 ・活動事例などを通じて概要を講義
9	福祉支援の概要③ 災害派遣福祉チーム	わが国における災害派遣福祉チーム	・災害派遣福祉チーム活動の仕組みを講義 ・活動事例などを通じて概要を講義
10	福祉支援の概要④ その他の災害時支援	わが国における災害時における諸支援活動	・災害時諸支援活動の仕組みを講義 ・活動事例などを通じて概要を講義
11	福祉支援の概要⑤ 福祉支援活動の課題	わが国における災害時福祉支援活動の課題	・災害時福祉支援活動の課題について活動事例などを通じて概要を議論する
12	福祉支援活動の展開手法① 急性期	急性期における福祉支援活動	・災害時福祉支援活動の急性期における展開過程における手法を議論する
13	福祉支援活動の展開手法② 復旧復興期	復旧復興期における福祉支援活動	・災害時福祉支援活動の復旧復興期における展開過程における手法を議論する
14	福祉支援活動の展開手法③ 平時の備えと訓練	平時における福祉支援活動	・災害時福祉支援活動の平時における備えのあり方と支援活動手法の訓練の方法を検討し議論する
15	災害福祉研究のまとめ	災害福祉研究のまとめとレジリエンス	・災害とレジリエンスの視点から、福祉支援体制のあり方について議論しまとめる

■スクーリング事前課題(学修時間目安:15時間以上)

- ・災害時の急性期と復旧・復興期における福祉支援活動のあり方と、そのためのレジリエンスの視点について、理解を深めておきましょう。

■スクーリング授業計画

	授業の内容	授業の方法
1	災害福祉とは何か① 災害福祉の概念と目標	オンデマンド
2	災害福祉とは何か② 法制度と災害時福祉支援体制の概要	オンデマンド
3	わが国と諸外国の主要な災害時福祉支援の理論	オンデマンド
4	福祉支援の概要① 災害ボランティアと施設間連携	オンデマンド
5	福祉支援の概要② 災害派遣福祉チーム等	オンデマンド
6	わが国における現在の福祉支援体制の課題	オンデマンド
7	福祉支援活動の展開手法① 急性期における福祉支援活動	対面
8	福祉支援活動の展開手法② 復旧復興期における福祉支援活動	対面
9	福祉支援活動の展開手法③ 平時における福祉支援活動	対面
10	災害福祉研究のまとめとレジリエンス	対面

■スクーリング事後課題（学修時間目安：15時間）

災害時の福祉支援体制に関する地域生活課題と、これに対応する様々な支援活動に関する概要を、具体的に把握しておきましょう。

■評価の方法・基準

スクーリング50%、課題レポート50%

■参考文献（*印=大学から送付される必読図書）

- * 1) 都築光一編著『明日への胎動—東日本大震災後の地域福祉』東北福祉大学地域福祉研究センター、2015参考図書
- 2) アンドリュー・ゾッリ、アン・マリー・ヒーリー著、須川綾子訳『レジリエンス 復活力』ダイヤモンド社、2013.
- 3) 西尾祐吾・大塚保信・古川隆司編著『災害福祉とは何か』ミネルヴァ書房、2010.
- 4) 山口道昭・出石稔編、千葉実・北村喜宣著『自治体災害対策の基礎』有斐閣、2019.
- 5) レベッカ・ソルニット、高月園子訳『災害ユートピア』亜紀書房、2020.
- 6) ナオミ・ザック著、高橋隆雄監訳、阪本真由美・北川夏樹訳『災害の倫理』頸草書房、2020.
- 7) 上野谷加代子監修・社団法人日本社会福祉士養成校協会編『災害ソーシャルワーク入門』中央法規、2013.
- 8) 清水将之編著、柳田邦男・井出浩・田中究著『災害とこどものこころ』集英社新書、2012.